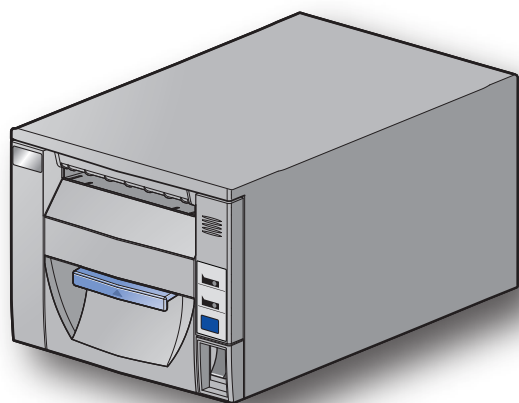


ソフトウェアマニュアル

for Linux



対応機種

■ **FVP10 Series**

Rev. 1.1

本書中に登場する会社名や商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

目次

1. インストール/アンインストール	1
1.1 ドライバのインストール	1
1.2 プリンタの登録.....	3
2. プリンタ機能の設定	9
2.1 機能一覧.....	10
3. イーサネット環境を使用する際のガイドライン.....	16
3.1 仮 IP アドレス設定	16
3.2 IP アドレス設定 << TELNET Utility >>.....	17
4. lpr コマンドで使用する際のガイドライン	19
4.1 機能対応一覧.....	20
5. 動作確認環境	22
6. 改訂履歴	23

はじめに

このマニュアルは、Fedora 9 を例にして CUPS プリンタドライバの操作方法を説明してあります。Fedora の他のバージョンや他のディストリビューションでは、掲載している画像に違いがありますが、同様の手順で操作が可能です。

このドライバを使用して、LAN 対応のプリンタをご使用いただくには、あらかじめプリンタへの IP アドレスの設定が必要となります。ご使用の LAN 環境において、DHCP サーバーからの IP アドレスの取得が行えない場合には、事前にプリンタへの IP アドレスの設定を行ってください。プリンタの IP アドレス設定方法につきましては、「3. イーサネット環境を使用する際のガイドライン」をご参照ください。

1. インストール / アンインストール

1.1 ドライバのインストール

以下の手順に従って、ドライバをインストールしてください。

注記：ドライバをインストールする前にインターフェイスケーブルをプリンタに接続して電源を入れてください。インターフェイスケーブルの接続方法はハードウェアマニュアルを参照してください。

既に古いバージョンがインストールされていると、新しいバージョンがインストールできない場合があります。その場合は新しいバージョンをインストールする前に、1.3 章を参照して古いバージョンをアンインストールしてください。

- ① コマンド入力をするため、ターミナル・ウィンドウを開いてください。
- ② su コマンドを使用して、一時的に管理者権限になってください。
\$ su
- ③ "starcupsdrv-x.xx.x_linux_yyyymmdd.tar.gz" を解凍してください。
注記：ファイル名中の「x.x.x-x」は、モジュールのバージョンです。
「yyymmdd」は、ドライバリリース日を表わす 8 桁の数字です。
- ④ 解凍してできた rpm パッケージのファイル "starcupsdrv-x.x.x-x.i386.rpm" のあるディレクトリに移ってください。
- ⑤ rpm コマンド (オプション -i -v 指定) を実行してパッケージをインストールしてください。
rpm -iv starcupsdrv-x.x.x-x.i386.rpm

インストールを開始します。



```
group2@localhost:/home/group2/downloads
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 端末(T) タブ(B) ヘルプ(H)
[group2@localhost ~]$ su
パスワード:
[root@localhost group2]# cd downloads/
[root@localhost downloads]# rpm -iv starcupsdrv-2.10.0.1.i386.rpm
パッケージインストールの準備中...
starcupsdrv-2.10.0.1
cups を停止中: [ OK ]
cups を起動中: [ OK ]
[root@localhost downloads]#
```

注記：Debian GNU/Linux, ubuntu でのインストール手順

ソースコードからのインストールが必要です。

必要なパッケージ

- "gcc"
- "libcupsys2-dev"
- "libcupsimage2-dev"

インストール作業はインターネット経由で行いますので、以下の作業はインターネットに接続されているシステム環境で操作してください。

上記3つのインストールは、以下のようにしてください。

```
$ su -  
(su コマンドを使用して、一時的に管理者権限になってください。)  
# apt-get update  
# apt-get install gcc  
# apt-get install libcupsys2-dev  
# apt-get install libcupsimage2-dev
```

ubuntu では su で管理者ユーザになることはできませんので、代わりに各コマンドの頭に "sudo " コマンドを入力してください。

例)
\$ sudo apt-get install gcc

starcupsdrv-x.xx.x_linux_yyyymmdd.tar.gz ファイルを PC にコピーした後、以下の操作をしてください。

```
# tar xzvf starcupsdrv-x.xx.x_linux_yyyymmdd.tar.gz  
# cd starcupsdrv-x.xx.x_linux  
# cd SourceCode  
# tar xzvf starcupsdrv-src-x.xx.x.tar.gz  
# cd starcupsdrv  
# make  
# make install
```

注記：ファイル名中の「x.x.x-x」は、モジュールのバージョンです。
「yyymmdd」は、ドライバリリース日を表わす 8 桁の数字です。

次に CUPS 管理画面 (<http://localhost:631/admin>) に入ってください。

(1.2. 項のプリンタの登録 を参照してください。)

1.2 プリンタの登録

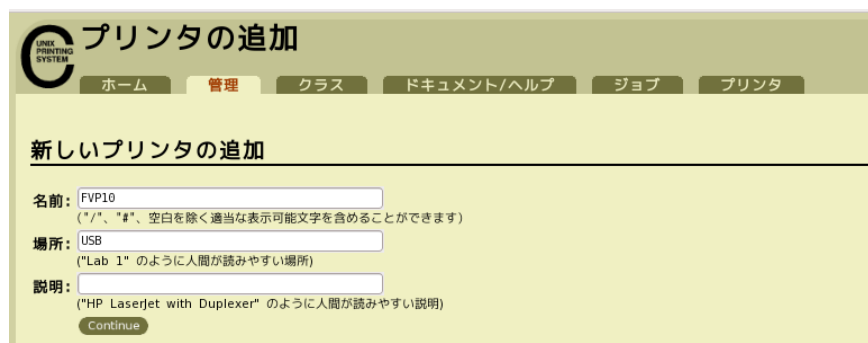
プリンタの登録はご使用のインターフェースによって手順が異なりますので、ご使用の環境に合った項をご参照ください。

1.2.1 イーサネットインターフェース以外をご使用の場合

- ① Web ブラウザで CUPS 管理画面 (<http://localhost:631/admin>) にアクセスしてください。



- ② “プリンタの追加” (Add Printer) をクリックしてください。
注記：認証を求めるダイアログが表示された場合は、root のパスワードを入力し [はい] を押してください。
- ③ プリンタの追加画面で、名前 (Name)、場所 (Location)、説明 (Description) の項目を入力してください。そして“続ける” (Continue) をクリックしてください。
場所 (Location) と説明 (Description) の項目は未入力でも構いません。



- ④ 使用するプリンタが接続されているデバイス (インターフェース) を選択し、“続ける” (Continue) をクリックしてください。



注記：パラレルインターフェイスの場合は、デバイスのプルダウンメニュー上に Star のモデル名が表示しない場合があります。その場合は以下の作業をしてください。

- 1) デバイス：LPT #1 (Unknown) を選択し、“続ける”を（Continue）クリック。
- 2) モデル/ドライバの画面で、“プリンタの追加” (Add Printer) をクリック。
- 3) メーカー：STAR を選択し、“続ける”（Continue）をクリック。

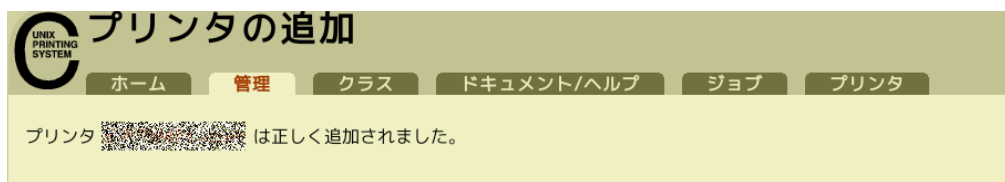
- ⑤ プリンタのモデル/ドライバを選択し、“プリンタの追加” (Add Printer) をクリックしてください。



注記：CUPS のバージョンによっては、モデル/ドライバのプルダウンメニュー上に Star のモデル名が表示しない場合があります。その場合は、ターミナルより以下のコマンドを実行後、前ページに戻り、再度プリンタの登録を行なってください。

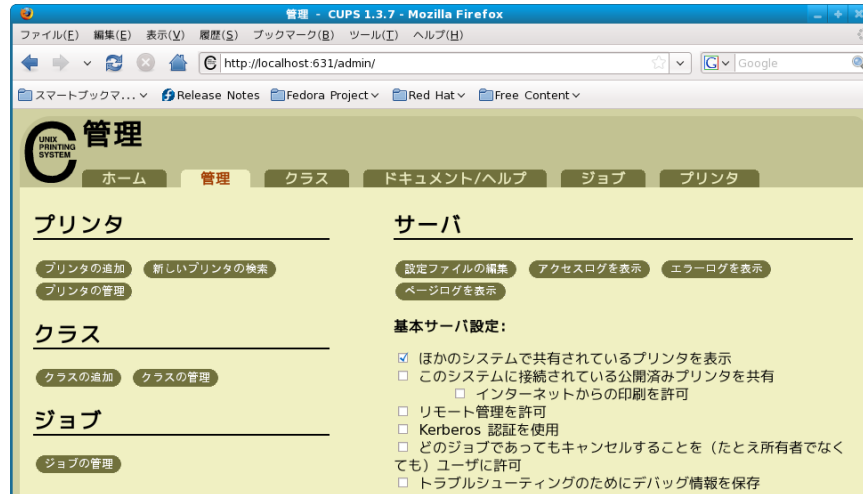
```
$ su
# cp -fr /usr/share/cups/model/star /usr/share/ppd/star
```

これでプリンタのインストールとプリンタの登録が完了しました。

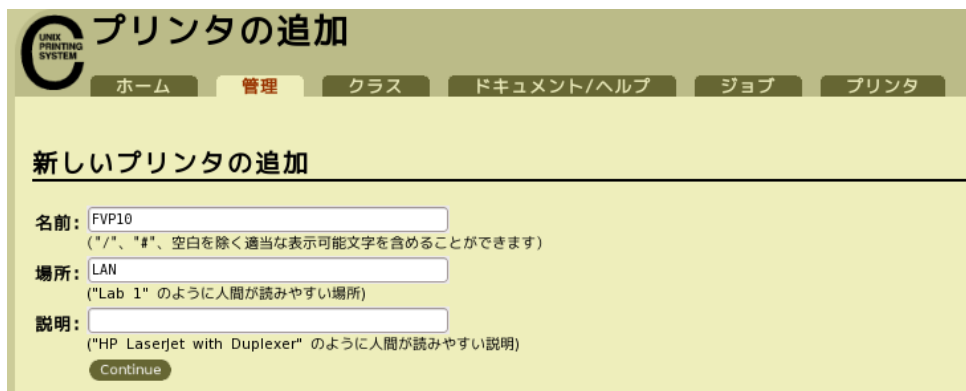


1.2.2 イーサネットインターフェースをご使用の場合

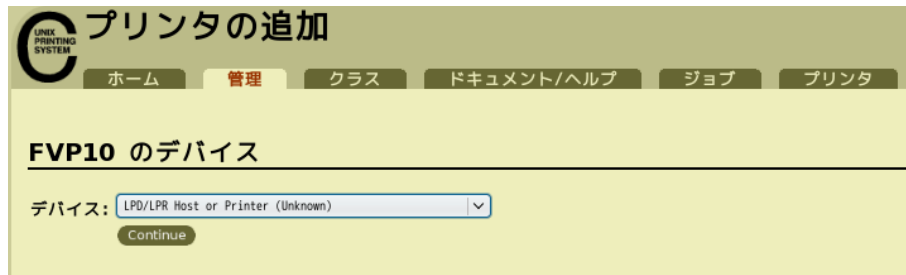
- ① Web ブラウザで CUPS 管理画面 (<http://localhost:631/admin>) にアクセスしてください。



- ② “プリンタの追加” (Add Printer) をクリックしてください。
注記：認証を求めるダイアログが表示された場合は、root のパスワードを入力し [はい] を押してください。
- ③ プリンタの追加画面で、名前 (Name)、場所 (Location)、説明 (Description) の項目を入力してください。そして“続ける” (Continue) をクリックしてください。
場所 (Location) と説明 (Description) の項目は未入力でも構いません。



- ④ 使用するプリンタが接続されているデバイス (LPD/LPR HOST or Printer) を選択し、“続ける” (Continue) をクリックしてください。



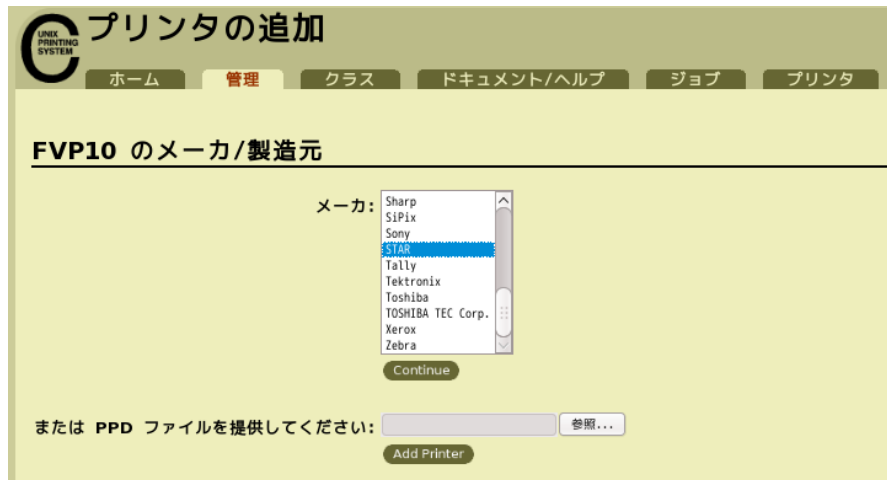
- ⑤ プリンタデバイスを URI で指定します。
LPD プロトコルの場合は、以下の URI を指定します。
lpd://<hostname>/<queue-name>
ホスト名は、設定するプリンタの IP アドレス（自己印字にて確認）です。
入力したら、“続ける” (Continue) をクリックしてください。



メモ 9100 番ポートを使用する場合は、以下の内容で設定を行います。

デバイス : AppSocket/HP Jet Direct
 デバイス URI : [設定するプリンタの IP アドレス] : 9100
 例 socket://192.168.32.228 : 9100

- ⑥ プリンタのメーカー名：Star を選択し、“続ける”（Continue）をクリックしてください。



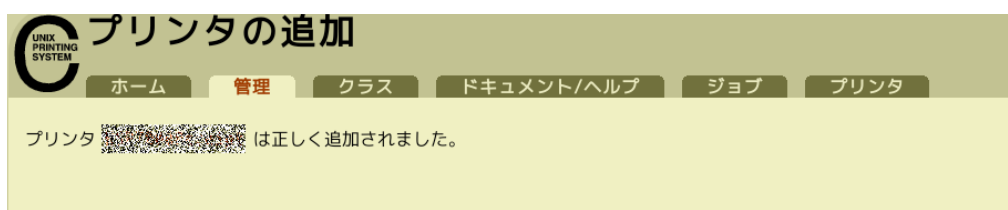
- ⑦ プリンタのモデル/ドライバを選択し、“プリンタの追加”（Add Printer）をクリックしてください。



注記：CUPS のバージョンによっては、モデル/ドライバのプルダウンメニュー上に Star のモデル名が表示しない場合があります。その場合は、ターミナルより以下のコマンドを実行後、前ページに戻り、再度プリンタの登録を行なってください。

```
$ su
# cp -fr /usr/share/cups/model/star /usr/share/ppd/star
```

これでプリンタのインストールとプリンタの登録が完了しました。



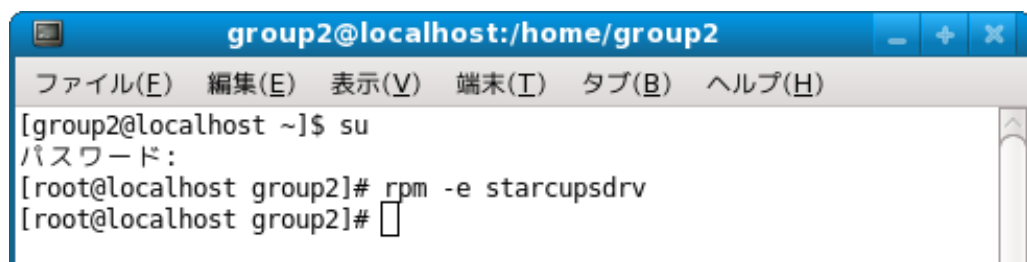
1.3 アンインストール

以下の手順に従って、ドライバをアンインストールしてください。

- ① Web ブラウザで CUPS 管理画面 (<http://localhost:631/printers>) にアクセスしてください。
“プリンタの削除” ボタンをクリックして、登録されているプリンタを削除してください。



- ② コマンド入力をするため、ターミナル・ウィンドウを開いてください。
- ③ su コマンドを使用して、一時的に管理者権限になってください。
\$ su
- ④ rpm コマンド (オプション -e 指定) を実行してパッケージをアンインストールしてください。
rpm -e starcupdrv



注記：Debian GNU/Linux, ubuntu でのアンインストール手順

```
$ cd "ソースコードの最上位ディレクトリのパス"
$ su -
# make remove
```

4 ページまたは 7 ページの注記の作業を行なった場合は以下を入力してください。
rm -fr /usr/share/ppd/star

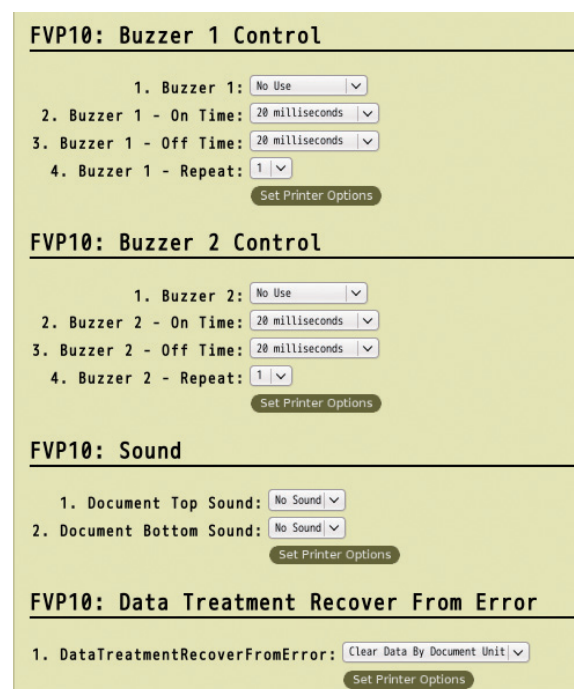
2. プリンタ機能の設定

プリンタ機能の設定は、Web ブラウザの CUPS 管理画面で行います。

- ① Web ブラウザで CUPS 管理画面 (<http://localhost:631/admin>) にアクセスしてください。
“プリンタの管理” ボタンをクリックしてください。



- ② 既に追加したプリンタドライバが登録されているので、設定を変更したい“プリンタオプションの設定” ボタンをクリックしてください。



2.1 機能一覧

選択するプリンタによって表示される機能は異なり、表示される機能のみ設定することができます。

■ General

1. Media Size: (用紙サイズ)

次の表にて示す用紙サイズがあらかじめ用意されており、設定が可能です。

Point! 最大印字幅を超える用紙サイズを選択した場合は、最大印字幅に合わせて縮小し、印字します。

用紙サイズ	デフォルト設定値 (●)
50.8 * 30mm	○
50.8 * 40mm	○
50.8 * 50mm	○
50.8 * 60mm	○
50.8 * 70mm	○
50.8 * 80mm	○
50.8 * 90mm	○
50.8 * 100mm	○
50.8 * 110mm	○
50.8 * 120mm	○
50.8 * 130mm	○
50.8 * 140mm	○
50.8 * 150mm	○
50.8 * 160mm	○
50.8 * 170mm	○
50.8 * 180mm	○
50.8 * 190mm	○
50.8 * 200mm	○
50.8 * 2000mm	○
52 * 30mm	○
52 * 40mm	○
52 * 50mm	○
52 * 60mm	○
52 * 70mm	○
52 * 80mm	○
52 * 90mm	○
52 * 100mm	○
52 * 110mm	○
52 * 120mm	○
52 * 130mm	○
52 * 140mm	○
52 * 150mm	○
52 * 160mm	○
52 * 170mm	○
52 * 180mm	○
52 * 190mm	○
52 * 200mm	○
52 * 2000mm	○

用紙サイズ	デフォルト設定値 (●)
52.5 * 30mm	○
52.5 * 40mm	○
52.5 * 50mm	○
52.5 * 60mm	○
52.5 * 70mm	○
52.5 * 80mm	○
52.5 * 90mm	○
52.5 * 100mm	○
52.5 * 110mm	○
52.5 * 120mm	○
52.5 * 130mm	○
52.5 * 140mm	○
52.5 * 150mm	○
52.5 * 160mm	○
52.5 * 170mm	○
52.5 * 180mm	○
52.5 * 190mm	○
52.5 * 200mm	○
52.5 * 2000mm	○
72 * 30mm	○
72 * 40mm	○
72 * 50mm	○
72 * 60mm	○
72 * 70mm	○
72 * 80mm	○
72 * 90mm	○
72 * 100mm	○
72 * 110mm	○
72 * 120mm	○
72 * 130mm	○
72 * 140mm	○
72 * 150mm	○
72 * 160mm	○
72 * 170mm	○
72 * 180mm	○
72 * 190mm	○
72 * 200mm	●
72 * 2000mm	○
A4	○
Letter	○
Legal	○

※ 使用するアプリケーションによっては機能しない場合があります。

■ Output Options

• Print Speed: (印字速度)

印字速度を設定します。印字速度の設定によって印字品質も変わります。

設定値	初期値	詳細
High	○	印字品質よりも印字速度を優先します。
Middle		印字品質も印字速度も中間的な設定です。
Low		最高の印字品質を得られますが、印字速度は遅くなります。

• Print Density: (印字濃度の設定)

印字濃度を設定します。

設定値	初期値	詳細
-3 ~ -1		- (マイナス) の数値が大きいほど印字が薄くなります。
Standard	○	通常の濃度で印字します。
+1 ~ +3		+ (プラス) の数値が大きいほど印字が濃くなります。

• Page Type: (ページタイプの設定)

ページタイプを設定します。

設定値	初期値	詳細
Variable Length	○	可変長制御: ページ終端までの余白データは出力しません。最後のデータが印刷された後にレシートが終了します。
Fixed Length		固定長制御: ページ終端までの余白データを余白として出力します。用紙サイズで指定した長さの印字後にレシートが終了します。

• Top Search: (頭出し機能の設定)

印刷前に行なう用紙の逆送り動作を設定します。

設定値	初期値	詳細
Disable	○	印刷前の用紙の逆送り動作を行いません。
Enable		印刷前に用紙を逆送りして上余白を小さくします。

注記: 1) 「Page Cut Type」または「Document Cut Type」を "Cut" に設定し、プリンタのカットモード設定が "フルカット" に設定されている場合のみ有効です。"パーシャルカット" の設定では使用できません。

2) プリンタのカットモードを切り替える際には、ハードウェアマニュアルをご参照いただき "ディップスイッチ" と "カッター" の設定を正しく行ってください。

■ Cut Options

- **Page Cut Type:** (ページカット動作の設定)

最後のページを除いた全てのページの終わりに実行されるカット動作を設定します。

設定値	初期値	詳細
No Cut	<input type="radio"/>	カットおよび用紙送りの動作を行いません。
Cut	<input type="radio"/>	カット位置まで用紙を送った後、フルカットまたはパーシャルカット(中央1点残しカット)動作を行います。

- **Document Cut Type:** (文書カット動作の設定)

最後のページに実行されるカット動作を設定します。

設定値	初期値	詳細
No Cut	<input type="radio"/>	カットおよび用紙送りの動作を行いません。
Cut	<input type="radio"/>	カット位置まで用紙を送った後、フルカットまたはパーシャルカット(中央1点残しカット)動作を行います。

注記：プリンタのカットモードを切り替える際には、ハードウェアマニュアルをご参照いただき
"ディップスイッチ"と"カッター"の設定を正しく行ってください。

■ Data Treatment Recover From Error

- **Data Treatment Recover From Error:** (エラー復帰時のデータの扱い設定)

エラー発生時の、送信済みの印字データを処理する方法を設定します。

設定値	初期値	詳細
No Use	<input type="radio"/>	エラー復帰後に残りのデータを続けて印刷します。
Clear Data By Document Unit	<input type="radio"/>	エラー復帰後に残りのデータをクリアします。

■ Cash Drawer Control

• **Cash Drawer:** (キャッシュドロワの動作設定)

キャッシュドロワの動作を設定します。

設定値	初期値	詳細
Do Not Open Drawers	○	キャッシュドロワを駆動しません。
Open Drawer 1		キャッシュドロワ 1 を印刷直後に駆動します。
Open Drawer 2		キャッシュドロワ 2 を印刷直後に駆動します。
Open Drawer 1 and 2		キャッシュドロワ 1 と 2 を印刷直後に駆動します。

• **Cash Drawer 1 Pulse Width:** (パルス幅の設定)

キャッシュドロワのパルス幅を設定します。

設定値	初期値	詳細
10 milliseconds		パルス幅を 0.01 秒に設定します。
100 milliseconds		パルス幅を 0.1 秒に設定します。
200 milliseconds	○	パルス幅を 0.2 秒に設定します。
300 milliseconds		パルス幅を 0.3 秒に設定します。
400 milliseconds		パルス幅を 0.4 秒に設定します。
500 milliseconds		パルス幅を 0.5 秒に設定します。
600 milliseconds		パルス幅を 0.6 秒に設定します。
700 milliseconds		パルス幅を 0.7 秒に設定します。
800 milliseconds		パルス幅を 0.8 秒に設定します。
900 milliseconds		パルス幅を 0.9 秒に設定します。
1000 milliseconds		パルス幅を 1.0 秒に設定します。
1100 milliseconds		パルス幅を 1.1 秒に設定します。
1200 milliseconds		パルス幅を 1.2 秒に設定します。

注記： 1) キャッシュドロワとブザーの設定は同時に有効にしないでください。

2) キャッシュドロワ 2 は、パルス幅が 200 milliseconds で固定ですので変更できません。

■ Buzzer 1 Control および Buzzer 2 Control

- **Buzzer 1 (Buzzer 2) :** (ブザー 1 (またはブザー 2) の動作設定)
ブザー 1 (またはブザー 2) の動作を設定します。

設定値	初期値	詳細
No Use	○	ブザー 1 (またはブザー 2) はブザー音を再生しません。
Document Top		ブザー 1 (またはブザー 2) は文書の先頭でブザー音を再生します。
Document Bottom		ブザー 1 (またはブザー 2) は文書の終端でブザー音を再生します。

注意：外部機器にブザー以外の機器（キャッシュドロワ等）を使用する場合には、'No Use' を選択してください。間違った設定を行った場合、外部機器本体が破壊する恐れがあります。

- **Buzzer 1 (Buzzer 2) - On Time :** (ブザー 1 (またはブザー 2) の再生時間)
ブザー 1 (またはブザー 2) のブザー音再生時間を設定します。

設定値	初期値	詳細
20 milliseconds	○	0.02 秒に設定します。
40 milliseconds		0.04 秒に設定します。
100 milliseconds		0.1 秒に設定します。
200 milliseconds		0.2 秒に設定します。
500 milliseconds		0.5 秒に設定します。
1000 milliseconds		1.0 秒に設定します。
2000 milliseconds		2.0 秒に設定します。
5000 milliseconds		5.0 秒に設定します。

- **Buzzer 1 (Buzzer 2) - Off Time :** (ブザー 1 (またはブザー 2) の休止時間)
ブザー 1 (またはブザー 2) の休止時間を設定します。

設定値	初期値	詳細
20 milliseconds	○	0.02 秒に設定します。
40 milliseconds		0.04 秒に設定します。
100 milliseconds		0.1 秒に設定します。
200 milliseconds		0.2 秒に設定します。
500 milliseconds		0.5 秒に設定します。
1000 milliseconds		1.0 秒に設定します。
2000 milliseconds		2.0 秒に設定します。
5000 milliseconds		5.0 秒に設定します。

• **Buzzer 1 (Buzzer 2) - Repeat:** (ブザー 1 (またはブザー 2) の再生回数)

ブザー 1 (またはブザー 2) を設定したブザー音再生時間・休止時間で繰り返して再生する回数を設定します。設定した回数に関わらず、“FEED” ボタンを押すことでブザー音の再生は止まります。

設定値	初期値	詳細
1	○	ブザー 1 (またはブザー 2) を 1 回再生します。
2		ブザー 1 (またはブザー 2) を 2 回再生します。
3		ブザー 1 (またはブザー 2) を 3 回再生します。
5		ブザー 1 (またはブザー 2) を 5 回再生します。
10		ブザー 1 (またはブザー 2) を 10 回再生します。
15		ブザー 1 (またはブザー 2) を 15 回再生します。
20		ブザー 1 (またはブザー 2) を 20 回再生します。

注記：1) キャッシュドロワとブザーの設定は同時に有効にしないでください。
2) ブザーの鳴動および休止時間がトータルして 90 秒を超えないようにしてください。

■ Sound

1. **Document Top Sound:** (文書先頭での音声再生設定)

文書先頭に音声を再生させる場合に、再生させる音声データ番号を設定します。

設定値	初期値	詳細
No Sound	○	文書先頭に音声を再生しません。
Sound1 ~ Sound20		文書先頭にプリンタに登録された音声データ "Sound n" を再生します。

2. **Document Bottom Sound:** (文書末尾での音声再生設定)

文書末尾に音声を再生させる場合に、再生させる音声データ番号を設定します。

設定値	初期値	詳細
No Sound	○	文書末尾に音声を再生しません。
Sound1 ~ Sound20		文書末尾にプリンタに登録された音声データ "Sound n" を再生します。

3. イーサネット環境を使用する際のガイドライン

このドライバを使用して、LAN 対応のプリンタをご使用いただくには、あらかじめプリンタへの IP アドレスの設定が必要となります。ご使用の LAN 環境において、DHCP サーバーからの IP アドレスの取得が行えない場合には、事前にプリンタへの IP アドレスの設定を行ってください。

3.1 仮 IP アドレス設定

以下の手順で、プリンタに対して仮 IP アドレスを設定することができます。仮 IP アドレスを設定することにより、IP アドレスの設定されていないプリンタへの接続が行えるようになります。

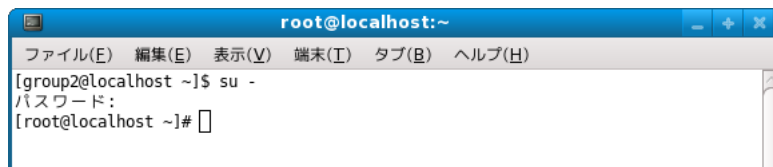
注記：プリンタの設定は管理者権限を持つユーザーで行ってください。

メモ

仮 IP アドレスの設定には、設定を行うプリンタの MAC アドレスが必要です。MAC アドレスはプリンタを自己印字させることで確認することができます。自己印字に関して詳しくはハードウェアマニュアルをご参照ください。

- ① コマンド入力をするため、ターミナル・ウィンドウを開いてください。
- ② su - コマンドを使用して、一時的に管理者権限になってください。

```
$ su -
```



- ③ ターミナルで以下のコマンドを実行することにより、プリンタに仮 IP アドレスを設定してください。

1. arp -d [プリンタ仮 IP アドレス]
2. arp -s [プリンタ仮 IP アドレス] [プリンタ MAC アドレス]
3. ping -c 4 [プリンタ仮 IP アドレス]
4. arp -d [プリンタ仮 IP アドレス]

具体例：仮 IP アドレス (192.168.32.228) を設定する場合

```
arp -d 192.168.32.228
arp -s 192.168.32.228 00:11:62:04:83:98
ping -c 4 192.168.32.228
arp -d 192.168.32.228
```

注記：Ubuntu を使用している場合は、su - コマンドの入力は不要ですが、arp コマンドの代わりに sudo arp コマンドを入力してください。

ここで設定を行う "仮 IP アドレス" は、プリンタの電源を切るとクリアされます。ひきつづき IP アドレスの設定作業を行ってください。

管理者ユーザーから一般ユーザーに戻るには exit コマンドを実行してください。

3.2 IP アドレス設定 << TELNET Utility >>

Telnet コマンドにより、直接プリンタに接続して設定を行います。

- ① コマンド入力をするため、ターミナル・ウィンドウを開いてください。
- ② Telnet コマンドにより、設定を行うプリンタに接続します。

例： > telnet 192.168.32.228
 ↓
 設定を行うプリンタの IP アドレス

注記：IP アドレスが設定されていないプリンタには、接続が行えません。
 「3.1 仮 IP アドレス設定」をご参照の上、あらかじめ仮 IP アドレスの設定を行ってください。

- ③ 設定を行うプリンタに "root" ユーザでログインします。
 工場出荷時のパスワードは "public" です。
 パスワードの変更を行った場合には、変更したパスワードを入力してください。

```
group2@localhost:~
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 端末(T) タブ(B) ヘルプ(H)
[group2@localhost ~]$ telnet 192.168.32.228
Trying 192.168.32.228...
Connected to 192.168.32.228.
Escape character is '^]'.

Welcome to IFBD-HE05/06 TELNET Utility.
Copyright(C) 2005 Star Micronics co., Ltd.

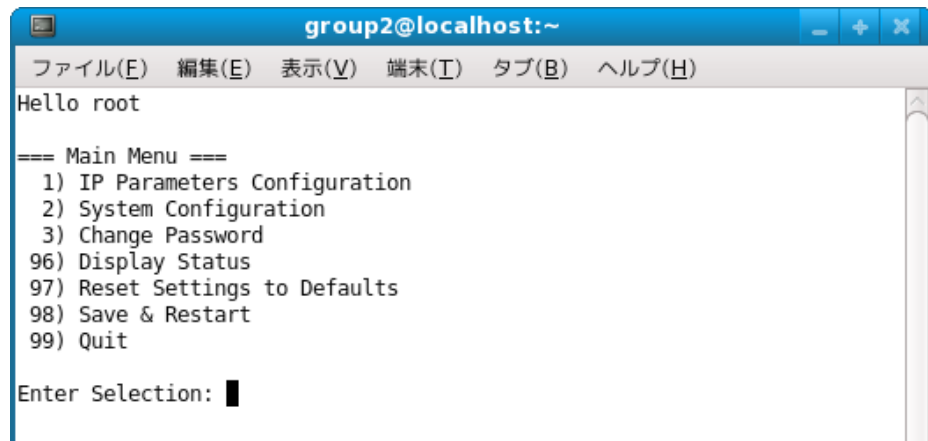
<< Connected Device >>
Device Model: #327405 Star HE05
NIC Product : IFBD-HE05/06
MAC Address : 00:11:62:04:83:98

login: root
Password: *****
```

- ④ 表示されるのは以下のメニューです。
 - 1) IP Parameters Configuration
 - 2) System Configuration
 - 3) Change Password
 - 96) Display Status
 - 97) Reset Settings to Defaults
 - 98) Save & Restart
 - 99) Quit

Enter Selection:

処理したい内容に合わせて番号を入力します。



```
group2@localhost:~  
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 端末(T) タブ(B) ヘルプ(H)  
Hello root  
=== Main Menu ===  
 1) IP Parameters Configuration  
 2) System Configuration  
 3) Change Password  
96) Display Status  
97) Reset Settings to Defaults  
98) Save & Restart  
99) Quit  
Enter Selection: █
```

- ⑤ すべての設定が終わったら "98(Save & Restart)" - "1(Save & Restart device & Configuration printing)" または "2(Save & Restart device)" で、設定内容の保存を行ってください。プリンタに設定内容を保存した後、プリンタのリセットがかかります。

4. lpr コマンドで使用する際のガイドライン

コマンドラインより lpr コマンドにて印刷を行う際には、以下のフォーマットにてオプションを指定することができます。

```
$ lpr -o [option]=[value] -o [option]=[value] ... [Filename]
```

[option]・[value] には、「4.1 機能対応一覧」より " コマンド指定名称 " に示した名称にて指定します。また、指定がないオプションについては、ドライバのデフォルト設定にて印刷を行います。

Point! オプション "-P" にてプリンタ名を指定する場合は、"lpstat -p" コマンドにて確認したプリンタ名を指定してください。

【使用例 1】

プリンタ名： FVP10
印刷ファイル： sample1.txt
用紙サイズ※： 50.8 * 200mm
余白（上）※： 0mm
余白（下）※： 0mm
余白（左）※： 0mm
余白（右）※： 0mm

※このオプションは、プリンタドライバオプションではなく、OS 標準のオプションです。

```
$ lpr -P FVP10 -o media="X50D8MMY200MM"
-o page-top=0 -o page-bottom=0 -o page-left=0
-o page-right=0 sample1.txt
```

【使用例 2】

印刷ファイル： sample2.txt
Print Speed： Low

```
$ lpr -o PrintSpeed=2Low sample2.txt
```

【使用例 3】

印刷ファイル： sample3.txt
Document Cut Type： No Cut

```
$ lpr -o DocCutType=0NoCutDoc sample3.txt
```

4.1 機能対応一覧

各機能の内容については「2.1 機能一覧」をご参照ください。

	機能名 (ドライバ表示)		コマンド指定名称		デフォルト 設定値 (●)
	option	value	[option]	[value]	
Output Option	Print Speed	High	PrintSpeed	0High	●
		Middle		1Middle	○
		Low		2Low	○
	Print Density	-3	PrintDensity	0Minus3	○
		-2		1Minus2	○
		-1		2Minus1	○
		Standard		3ZERO	●
		+1		4Plus1	○
		+2		5Plus2	○
	Page Type	Variable Length	PageType	0Variable	●
Fixed Length		1Fixed		○	
Top Search	Disable	TopSearch	0Disable	●	
	Enable		1Enable	○	
Cut Options	Page Cut Type	No Cut	PageCutType	0NoCutPage	●
		Cut		1CutPage	○
	Document Cut Type	No Cut	DocCutType	0NoCutDoc	○
		Cut		1CutDoc	●
Data Treatment Recover From Error	Data Treatment Recover From Error	No Use	DataTreatment RecoverFrom Error	0NoUse	○
		Clear Data By Document Unit		1ClearDataByDocumentUnit	●
Cash Drawer Control	Cash Drawer	Do Not Open Drawers	CashDrawerSetting	0DoNotOpenDrawers	●
		Open Drawer 1		1OpenDrawer1	○
		Open Drawer 2		2OpenDrawer2	○
		Open Drawer 1 and 2		3OpenDrawer3	○
	Cash Drawer 1 Pulsh Width	10 milliseconds	CashDrawer1PulseWidth	0Millis10	○
		100 milliseconds		1Millis100	○
		200 milliseconds		2Millis200	●
		300 milliseconds		3Millis300	○
		400 milliseconds		4Millis400	○
		500 milliseconds		5Millis500	○
		600 milliseconds		6Millis600	○
		700 milliseconds		7Millis700	○
		800 milliseconds		8Millis800	○
		900 milliseconds		9Millis900	○
1000 milliseconds	10Millis1000	○			
1100 milliseconds	11Millis1100	○			
1200 milliseconds	12Millis1200	○			

	機能名 (ドライバ表示)		コマンド指定名称		デフォルト 設定値 (●)	
	option	value	[option]	[value]		
Buzzer1 Control / Buzzer2 Control	Buzzer1 / Buzzer2	No Use	Buzzer1Setting /	0NoUse	●	
		Document Top	Buzzer2Setting	1DocumentTop	○	
		Document Bottom		2DocumentBtm	○	
	Buzzer1 - On Time / Buzzer2 - On Time	20 milliseconds	Buzzer1OnTime /	0Millis20	●	
		40 milliseconds	Buzzer2OnTime	1Millis40	○	
		100 milliseconds		2Millis100	○	
		200 milliseconds		3Millis200	○	
		500 milliseconds		4Millis500	○	
		1000 milliseconds		5Millis1000	○	
		2000 milliseconds		6Millis2000	○	
		5000 milliseconds		7Millis5000	○	
	Buzzer1 - Off Time / Buzzer2 - Off Time	20 milliseconds	Buzzer1OffTime /	0Millis20	●	
		40 milliseconds	Buzzer2OffTime	1Millis40	○	
		100 milliseconds		2Millis100	○	
		200 milliseconds		3Millis200	○	
		500 milliseconds		4Millis500	○	
		1000 milliseconds		5Millis1000	○	
		2000 milliseconds		6Millis2000	○	
		5000 milliseconds		7Millis5000	○	
	Buzzer1 - Repeat / Buzzer2 - Repeat	1	Buzzer1Repeat /	0Repeat1	●	
		2	Buzzer2Repeat	1Repeat2	○	
		3		2Repeat3	○	
		5		3Repeat5	○	
		10		4Repeat10	○	
		15		5Repeat15	○	
		20		6Repeat20	○	
		Sound	Document Top Sound	No Sound	DocumentTopSound	0NoSound
	Sound1				1Sound	○
Sound2				2Sound	○	
•				•	•	
•				•	•	
•				•	•	
Sound19				19Sound	○	
Sound20				20Sound	○	
Document Bottom Sound	No Sound			DocumentBottomSound	0NoSound	●
	Sound1				1Sound	○
	Sound2			2Sound	○	
	•			•	•	
	•			•	•	
	•			•	•	
	Sound19			19Sound	○	
	Sound20			20Sound	○	

5. 動作確認環境

Distribution	Version
Red Hat Enterprise Linux	5.5
CentOS	5.5
openSUSE	11.3
Fedora	13
ubuntu	10.04



特機事業部

〒424-0066

静岡県静岡市清水区七ツ新屋 536

電話 : 054-347-0112 (営業直通)

<http://www.star-m.jp/dl/dl02.htm>